



平成27年4月3日

各位

上場会社名 株式会社 フェリシモ  
 代表者 代表取締役社長 矢崎 和彦  
 (コード番号 3396)  
 問合せ先責任者 経営管理部長 村上 紀子  
 (TEL 078-325-5555)

## 業績予想の修正及び繰延税金資産の取崩しに関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成26年12月5日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。また、平成27年2月期決算(平成26年3月1日～平成27年2月28日)において、下記の通り、繰延税金資産の取崩しを行うことといたしましたので、併せてお知らせいたします。

記

### ● 業績予想の修正について

平成27年2月期通期連結業績予想数値の修正(平成26年3月1日～平成27年2月28日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	38,613	△335	△218	△249	△25.25
今回修正予想(B)	37,703	△631	△383	△1,921	△194.82
増減額(B-A)	△909	△296	△165	△1,672	
増減率(%)	△2.4	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (平成26年2月期)	40,726	△295	103	△35	△3.55

### 修正の理由

平成27年2月期通期の連結売上高は、37,703百万円と前回発表予想を909百万円下回る見通しとなりました。これは第4四半期の顧客数が見通しを下回ったことによるものです。

利益につきましては、出荷数が減少したことで配送関連費用が減少したことと、購入顧客へ配布するカタログ等の費用が減少する等、販売費及び一般管理費の一部が見通しを下回りましたが、売上高の減少に伴う売上総利益の減少が大きく、営業損失は631百万円と前回発表予想から296百万円増加する見通しとなりました。営業外損益で為替差益等が発生したものの、経常損失は383百万円と前回発表予想を165百万円増加する見通しとなりました。また、以下に記載いたしましたように、繰延税金資産の取崩しを行うこととなり、当期純損失は1,921百万円と前回発表予想を1,672百万円増加する見通しとなりました。

### ● 繰延税金資産の取崩しについて

当期及び次期以降の業績見通し等を踏まえ、繰延税金資産の回収可能性について検討した結果、当社単体で貸借対照表に計上していた繰延税金資産のうち1,446百万円を取崩し、法人税等調整額(税金費用)に計上しました。

以上